

主な内容

- 1.....消費生活者被害防止プロジェクト始動!
- 2・3.....名張市立病院だより「きらり」
- 4.....1月の相談、健康エブリデー、農業人材育成研修会開催

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊦http://www.city.nabari.lg.jp

▼全国で、こうした取組みをしている自治体や行政機関は、山口県山陽小野田市、東京都杉並区、新潟県警で、名張市が4例目になります。県内では、初の試みです。

悪質業者 STOP

安心して暮らせるまちを目指して 消費生活者被害防止プロジェクト始動!

年々手口が巧妙化し、後を絶たない消費生活者被害から市民を守ろうと、10月21日、地域、関係団体、警察、市を含む13団体による「消費生活者被害防止ネットワーク・プロジェクト」がスタートしました。

今号は、高齢者世帯などの被害防止へ向け、官民が一丸となり進める取組みを紹介いたします。

☎総合窓口センター
☎63-7416

官民が一丸で、市民を守る!

10月21日、消費生活協議会、民生委員児童委員協議会連合会、老人クラブ連合会、地域づくり組織、障害者団体、警察、市など13団体が参画した「消費生活者被害防止ネットワーク・プロジェクト」がスタートしました。

今回のプロジェクトでは、悪質な勧誘電話や訪問販売などの実態把握、見守りの強化などを中心に取り組みます。

▼悪質な電話勧誘による被害防止のための電話や訪問による見守り
▼高齢者世帯などに通話録音装置を設置し、実態把握とともに録音情報を法的措置に活用

▼悪質業者撃退のため、迷惑電話チェッカーや防犯ラジオなどの貸し出し

消費生活者被害の半数は高齢者であり、悪質業者は健康食品の売り込みや住宅リフォームの勧誘などで高齢者を狙っています。この取組みを期に、官民が一丸となり、消費生活者被害を防止・撃退する機運を高めます。市民が被害に遭わない、安心して暮らせるまちを目指していきます。

プロジェクト

電話・訪問などによる見守りの強化!

民 生委員児童委員、まちの保健室などによる高齢者の日ごとの見守り活動の中で、被害に遭う危険性の高い世帯に対して電話や訪問を強化。訪問時にアンケートも実施します。また、11月より月2回身近で発生した消費生活者被害に関する情報などをFMなばり(83.5MHz)で配信しています。

地 域の高齢者サロンなどの場を活用し、出前講座の開催など、啓発活動を行います。

プロジェクト


通話録音装置を設置し、録音情報を活用!


協 力いただく高齢者宅など100世帯に、12月から自宅に通話録音装置を設置しています。1カ月間、電話によるセールスなどの内容を録音します。録音データは市に提出いただき、今後の対策に生かすとともに、特に悪質な通話内容や詐欺の疑いのものなどは、必要に応じ、警察に通報するなど、被害の拡大防止を図ります。

プロジェクト

撃退支援グッズなどの貸出!

見 守り支援や消費者相談において、悪質業者の撃退支援などの必要があると判断した消費者には、迷惑電話チェッカーなどを無償で貸し出します。また、高齢者世帯などを対象に防犯ラジオの貸し出しを予定しています。

通話録音装置(電話下) 
簡単な操作で電話内容を録音します。

迷惑電話チェッカー 
赤点灯(点滅)で迷惑電話などを知らせてくれます。

